

2010年4月12日

## 第62回 化学技術賞を受賞いたしました。

当社の研究担当部員4名（渡辺 晃、藤井 元治、竹林 賢治、笹辺 修司）が研究・開発テーマ『火炎法を用いた多成分複合酸化物ナノ粒子合成装置の開発』で、第62回化学技術賞を受賞いたしました。

表彰式は、平成22年5月28日(金)に大阪科学技術センターで行なわれる予定です。

\* 主催： 社団法人 近畿化学協会（会長 馬場 章夫 大阪大学）

<http://www.kinka.or.jp/>

### 本表彰の対象

化学に関連する研究及び技術で顕著な業績があると認められたもの（工業化したもの、工業化しうるもの、工業化への寄与が著しいもの）を対象とし、受賞資格は45歳未満の研究技術者。

### 研究・開発の概要

ナノ粒子は、サイズの特徴に起因する量子サイズ効果、高活性化、融点降下、溶解性向上などの新規な機能を示すために、新素材としての応用展開が期待されています。しかしながら、一般的にナノ粒子は合成が難しく、合成できる粒子の種類も限定されるため、幅広い材料用途へのナノ粒子の適用が検討されているとは言い難いのが現状です。受賞者らは、この現状を打破すべく、ナノ粒子の用途開発を加速・推進させる装置として、多成分複合酸化物ナノ粒子を合成できる装置を開発し、さらに、この方法を用いて月間数トン程度の多成分複合酸化物ナノ粒子を量産できる技術も既に確立しています。



写真：30分のバッチ運転で10g程度を作製できる  
実験室用多成分複合酸化物ナノ粒子合成装置  
“ナノクリエイター FCM-MINI”